様式第２号（第８条関係）

事業完了（廃止）報告書

２９年　３月２日

学校名　　遠野西中学校
学校長名　谷木　啓恭　㊞

１　事業名
「復興地交流学習」及び「銀河ドリーム教室（ふるさとの達人に学ぶ）」

２　目的
（１）ふるさとの復興について学び、ふるさとと自分の未来について考える
（２）地域の方々と交流し、生き方を学ぶ活動を通し、主体的に学ぶ態度を育てる。
（３）生徒の人生観の育成を図るとともに、郷土を愛する心を育てる。

３　事業概要
「①復興地交流学習」及び「②銀河ドリーム教室（ふるさとの達人から学ぶ）」講演会

４　事業内容
（１）実施時期　平成２８年①８月２５日（木）　②３１日（木）
（２）対象学年　３学年（①復興地学習）、全学年（②銀河ドリーム教室）
（３）事業に投入された資源
ア　人員　　講師　７名
イ　資材　　ホワイトボード、カラーマルチペーパー、オーディオコード、直接感熱紙
ウ　経費　　報償費（講師謝礼）　　４６，０００円（講師７人分）
　　消耗品費　　３５，７４８円
エ　内容
①復興地交流学習
　遠野まごころネット　　井上　恵太さん
※ふるさとと自分の未来についてレポートをまとめた。
②銀河ドリーム教室
A「物造りを通して」
　（有）オーパーツ　　社長　及川　元一さん
B「農業の歴史と農業の未来　～米つくりを通して～」
　勘六縁　　菊池　陽佑さん
C「遠野のオリジナルグッツ制作に賭ける思い」
　柳の下工房　　菊池　依里香さん
D「健康バランスを考える」
　整体院「ひなたぼっこ」　　院長　千葉　政弘さん
E「陶芸家として生きる」
　薬師窯　　菊池　和好さん
F「国際協力・多文化理解を探る」
　青年海外協力協会遠野事務所　　松本　祥さん
※６つのコースのうち１つを生徒が選択し、講演を聴き感想用紙に感想をまとめた。

5　成果と課題

（１）地域の方のお話を聞き、質問などをする中で、生徒は将来の自分の生き方を考える貴重な機会を得た。

（２）地域の方々の体験や活躍を知ることで、あらためて郷土の価値や魅力を見直すきっかけとなり、地域への愛情を育むことができた。

（３）話を聞くだけでなく、体験的・活動的な内容が工夫できないか検討する。

（４）生徒の学習成果を発表する機会を設ける。